

## 外来における在宅療養支援能力向上のための研修 開催要綱

～ 外来にかかわる看護職が在宅療養支援を実践するために～

- 1 ねらい
  - 1) 外来を取り巻く現状と課題のもと、地域における自施設の外来が果たすべき役割と、自らが外来で担うべき役割を認識するとともに、外来患者を支えるために必要な在宅療養支援に関する知識を習得できる
  - 2) 習得した知識を、在宅療養支援の強化に向けた取り組みに役立てることができる
- 2 日時 令和7年12月19日（金）13：30～16：00  
※受付は、研修開始30分前から行います
- 3 申込期間 令和7年9月1日（月）～22日（月）
- 4 会場 富山県看護研修センター
- 5 会費 会員8,800円 非会員13,200円
- 6 コーディネーター 市立砺波総合病院 看護部長 小倉 里美
- 7 講師 富山県看護協会 会長 岡本 里美  
富山赤十字病院 看護師長兼患者総合支援センター副センター長 曾山 潤
- 8 対象者 県内の病院に勤務している看護職
- 9 事前課題 2025年度のeラーニングによる全ての講義を受講後「事前課題用紙」を提出  
提出期限は11月7日（金）12時まで  
①地域における自施設の役割と外来看護師として自らが担う役割について  
②外来における療養支援について自身が感じている課題

### 10 プログラム

時間	内容	講師
13：35～13：55	講義 富山県における、医療・看護をとりまく状況等について	富山県看護協会 会長 岡本 里美
13：55～16：00	実践報告 13：55～14：05 休憩 14：05～14：10 グループワーク 14：10～15：20（70分間） 発表 まとめ15：20～16：00 外来における在宅療養支援について	実践報告講師 富山赤十字病院 看護師長 兼 患者総合支援センター 副センター長 曾山 潤  コーディネーター 市立砺波総合病院 看護部長 小倉 里美